

知多版



「祈り」五島列島
伊藤 和義
中部白日会所属

ニュース、情報は下記へ
社会部
052-231-1650・5919
Eメール
shakai@chunichi.co.jp

半田支局 〒475-0903
半田市出口町1-45-18

南吉初恋女性の 晩年の家初公開



初めて一般公開されている咸子さんが晩年を過ごした家＝半田市岩滑中町で

半田市出身の童話作家、新美南吉が生まれた同市岩滑地区で十月二日まで開催中の「童話の村 秋まつり」に合わせ、南吉の初恋の女性とされる遠藤咸子さんが晩年を過ごした家が、無料休憩所として初めて一般に公開されている。(山本真士)

半田

建物は同市岩滑中町二で、「南吉の生家」から西に百餘の所。介護保険事業などを展開する市内のNPO法人「りんりん」と、地区の住民が秋まつりを盛り上げるため建物を所有する遺族の許可を得た。十年以上空き家だったが一般に公開できる状態に整えた。敷地の庭にベンチや椅子、テントを設置。室内では咸子

「秋まつり」で休憩所に

さんの写真パネルのほか、着物や楽器、レコードなど、咸子さんと彼女の結婚相手のゆかりの品々を展示している。期間中は午前九時半～午後三時半に開放。即売コーナーもあり、売り上げを建物の保存費用に充てる。

りんりんの村上真喜子理事長(六巴)は「咸子さんの暮らしぶりを想像できるこの家は、南吉のファンにとって非常に価値がある」と力を込める。



知多高等女学校時代の遠藤咸子さん(新美南吉記念館提供)